

2019年度 第3回ゴーヤプロジェクト通信簿

作成者 伊豫田 葵

令和元年 8月1日

所属 管理グループ

先日、ゴーヤの初収穫を行い、初物を社長に贈呈しました。

今回は、その内容についてご報告いたします。

ゴーヤ初収穫(7/9)

ゴーヤプロジェクトでは、ゴーヤのグリーンカーテンを作ることだけではなく、ゴーヤの他に、なす、ピーマン、オクラを育て、ゴーヤ以外の野菜の特性や細かな変化にも気を使いながらみんなで成長を見守っています。6月に入っても思うように大きくなりず、また、葉が黄色くなるなど、成長が心配されましたが、7月に入り気温が上昇したことや追肥を行ったことで、それぞれの野菜がすくすくと芽を伸ばし、葉は大きく広がり、ネットよりも高く蔦が伸びています。実は徐々になり始め、より多くの実をつけるために人工授粉を行い、その甲斐もあって7/9 現在ではたくさんの実がなっています。



収穫した野菜

ゴーヤ贈呈

収穫したての初物のゴーヤやその他の野菜を、社長にお渡ししました。自分たちで育てた野菜を、食べていただくのはなんだか緊張しますが、社長にお渡しできるほど野菜が成長し、お渡しできたことは、とても嬉しく思います。後日、社長より「我が家で妻が調理して、美味しく頂きました。(一部抜粋)」と感想を頂戴しました。このように仰ってもらったことに、嬉しさと安堵が入り混じった気持ちです。このようにして誰かと共有していただけるのも、食物の良さだと思うので、今後たくさんの方に、育てた野菜をお渡しできたらと思います。

野菜をお渡しした際に、社長から企業の環境配慮への意識に関するお話をいただきました。その中で、「ESG」という言葉が出てきました。ESGは企業が長期的に成長するための環境・社会・ガバナンスの観点を示している言葉です。ゴーヤプロジェクトはSDGsのみならずESGの観点にも繋がっているかもしれないと考えると、「グリーンカーテンを作成する」という言葉の中に、環境や企業の未来への意識が存在しているように感じます。これからは野菜の成長だけでなく、プロジェクト自体にも肉付けができるような意識、視野を持っていきたいです。



贈呈の記念写真

